

## 公表

# 第7回若年者ものづくり競技大会「メカトロニクス」職種 競技課題

### 競技課題

工場の自動生産設備を模擬した競技用 FA モデルを用い、設備の改造、調整、プログラミングや保守を行う。全ての競技課題は非公表であり、各チーム 2 名の選手が連携して作業を行う。

#### 第1課題 ネットワーク運転

支給された部品と図面をもとに、模擬生産設備の機械装置、電気回路、および空気圧回路を組み替え、調整を行う。さらに、3 つのステーションを組み合わせた模擬生産設備を構築し、仕様書通りワークが搬送されるように動作プログラムを作成する。

#### 第2課題 トラブルシューティング

第1課題で構築した生産設備に複数の不具合（不具合箇所は非公表）があり、設備が正常に動作しない状態にある。設備診断により不具合箇所を特定し、修復を行う。

#### 第3課題 予防メンテナンス

第1課題で構築した生産設備について、設備の機能を維持するための予防保全作業を行う。指示された部品の交換を行い、元の状態に修復する。

### 競技時間

第1課題 競技時間 2 時間 00 分

第2課題 競技時間 1 時間 00 分

第3課題 競技時間 1 時間 00 分

### 採点項目と配点

課題	採点項目	配点
第1課題 ネットワーク運転	組立・I/O	5 点
	標準課題	20 点
	応用課題	25 点
第2課題 トラブルシューティング	動作	0 点
	修復	2 点
	報告書	8 点
	時間	15 点
第3課題 予防メンテナンス	動作	3 点
	修復（分解状態、復元状態）	7 点
	時間	15 点
		合計 100 点

※ 順位は、総合得点の高い順とする。総合得点が同点の場合は、第1課題の高得点チームを上位とする。第1課題も同点の場合は、第2課題の高得点チームを上位とする。全ての課題が同点の場合には、外観により順位を決定する。

## 第1課題

### (1) 組立・I/O

- 製作・改造箇所の組立、配管、配線が基準通りであるか、PLC の入出力の配線と動作が仕様書通りであるかを、チェックシートにより採点する。

### (2) 標準課題・応用課題

- ネットワーク運転の動作を、チェックシートにより採点する。
- 各課題、全項目 OK で合格とする。
- 採点の結果が不合格の場合、1回につき課題配点の 10%をその課題の得点から減点する。
- 採点を複数回受けた課題は、最後の採点結果から得点を算出する。
- 標準課題と応用課題の両方で満点を取ったチームがある場合の得点計算

得点 =  $45 \times$  仮得点 / 全チーム中の仮得点の最高点

満点を取ったチーム： 仮得点 = 合格した課題の配点 × (1 + (残り時間 / 2 時間))

上記以外のチーム： 仮得点 = 合格した課題の配点

- 標準課題と応用課題の両方で満点を取ったチームがない場合の得点計算

得点 = 仮得点 + 課題難易度点

仮得点 = 合格した課題の配点

課題難易度点 = 概ね (45 - 全チーム中の仮得点の最高点) を超えない点

## 第2課題

### (1) 時間点

- トラブルシューティング課題に合格したチームには、次式による時間点を与える(秒単位で計算)。

$$\text{時間点} = 15 \times \left( \frac{T_s - T_n}{T_s - T_1} \right)^2$$

$T_s$ : 競技時間 (1 時間),  $T_1$ : 提出トップチームの提出時間,  $T_n$ : 各チームの提出時間

### (2) 報告書

- トラブル設定内容に対し報告書の入力内容(修復内容)が合っていること。修復内容の報告は、作業内容が明確であり、修復部位を特定できること。
- 修復部位や作業内容が明確でないものは減点する。

減点される例：

- 「○○sta.の配管交換」：どこからどこまでの配管なのか特定できないため
- 「○○sta.の右旋回端センサ修正」：修正の内容が不明確なため

### (3) 動作・修復

- 標準課題の動作と組立・配管・配線を、チェックシートにより採点する。
- 全項目 OK で合格とする。
- 2回目以降の課題提出時は、必要に応じて採点する。
- 動作採点、修復採点ともに合格の場合に限り、得点を与える。採点を複数回受けた場合は、最初の採点結果から修復の得点を算出する。
- 動作・修復チェックで NG の場合、1回につき 5 分を終了時間に加算する。

### (4) その他

- 打ち切りとなっている第1課題に関する得点・減点はない。

## 第3課題

### (1) 時間点

- 予防メンテナンス課題に合格したチームには、次式による時間点を与える(秒単位で計算)。

$$\text{時間点} = 15 \times \left( \frac{T_s - T_n}{T_s - T_1} \right)^2$$

$T_s$ : 競技時間 (1 時間),  $T_1$ : 提出トップチームの提出時間,  $T_n$ : 各チームの提出時間

### (2) 動作・修復

## 若年者ものづくり競技大会「メカトロニクス」職種 競技課題

- 標準課題の動作と組立・配管・配線を、チェックシートにより採点する。
- 全項目 OK で合格とする。
- 2回目以降の課題提出時は、必要に応じて採点する。
- 修復（分解状態）は、分解状態の確認が OK となれば得点を与える。動作・修復（復元状態）は、動作採点、修復採点とともに合格の場合に限り、得点を与える。採点を複数回受けた場合は、最初の採点結果から修復（復元状態）の得点を、最後の採点結果から動作の得点をそれぞれ算出する。
- 動作・修復チェックで NG の場合、1回につき 5 分を終了時間に加算する。

### (3) その他

- 打ち切りとなっている第1・第2課題に関する得点・減点はない。

## 競技用設備

持参工具等一覧に示された設備は、参加チームが準備すること。

### (1) 競技用 FA モデル（基本3ステーション）

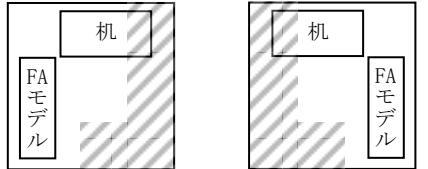
- 設備仕様書に準拠したもの。許可された部位以外の改造は認めない（制御盤内を含む）。

### (2) タッチパネル

- 画面はタッチパネル仕様書に準拠したものを準備すること。ただし、画面1、画面2、画面8は大会で使用しない。

競技会場の設備は下表のとおり。会場の事情によっては、多少の変更がある。

- 競技エリア内の配置変更は禁止する。
- 作業台（幅 1500～1800mm、奥行き 750～900mm）・丸椅子を持ち込む場合は、あらかじめ競技委員会に連絡すること。持ち込む作業台の高さは任意とする。
- 設置した機材（蛍光灯等を含む）が競技エリアからはみ出ないこと。
- 各チームのエリアの机に設置する書面立てやホワイトボード等の衝立は、机の上面から概ね 400mm 以下とする（450mm を超えないこと）。観客・審査員からの視界を遮らない場所に設置すること。

	規格	数量	備考
各チームの競技エリア	3300mm×3300mm		審査員用の椅子を下図の斜線部内に設置する 
作業台	1800mm×900mm	1脚	高さ 712mm 程度（天板コンパネを含む） 中棚なし
丸椅子	キャスター付	2脚	
電源	AC 100V	計 20A	2P E 付 4 口を競技エリア内に設置